

令和2（2020）年度 部局マネジメント方針

つちや ほうど
教育長 土屋 宝土



私の決意

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によって学校園が臨時休業になり、子どもたちが登校園できないという、今まで経験をしたことがない異常な事態で始まりました。

学校教育は、教育を集団性のもとに行うことにその本質がありますので、このように登校園ができず子どもたちの集団性が確保されない状態は、本来の目指すものの実現に大きな障害をもたらすことになるといわなければなりません。

しかし、そのような中でも子どもたちの学習の機会をなんらかの方法で確保し、その成長を支えていく取り組みが必要です。

政府は、令和元年度末に学校で子どもたち一人一台の情報端末を持って学習ができることを目指すGIGAスクール構想を決定し、令和2年度から令和5年度まで年次的に情報端末の配備を行うこととしていましたが、新型コロナウイルス感染症による影響を受け、子どもたちが登校園ができない事態が生じたことを踏まえ、令和2年度中にすべての学年の児童・生徒に情報端末を配備するようプランを変更しました。

そのことから、本年度においてはGIGAスクール構想に基づく学校ICT環境の整備とICTを活用した教育の実現に全力をあげていきたいと考えています。

また、長期にわたる学校園の臨時休業で大きな影響を受けている子どもたちの生活面でのケアについても大いに注力する必要があります。

新型コロナウイルス感染症のような今まで経験したことの無いような社会的な影響をもたらすものにどのように対処するかは、非常に困難なことでありますが、子どもたちの学習を保障し、成長を支えていくことは我々の使命であり、課題の解決に向かって、ひとつひとつ丁寧に取り組んでいきたいと考えています。